

令和6年度事業報告

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

社会福祉法人 金亀会

障害者支援施設 スマイル

目 次

1. 社会福祉法人 金亀会の概要	1
2. 社会福祉法人 金亀会 理事会・評議員会開催状況	2
3. 施設利用者の概況	3
4. 医療状況	5
5. 事故報告及び苦情報告	7
6. 給食栄養等の状況	9
7. 施設入所支援利用状況	10
8. 生活介護利用状況	11
9. 短期入所事業利用状況	12
10. 相談支援事業実施状況	13
11. ヘルパーステーション利用状況	14
12. 日中一時支援事業利用状況	15
13. 介護保険利用状況	16
14. ボランティア来所状況	16
15. 年間行事実施状況	17
16. 諸会議・各種委員会及び研修状況	18
17. 防災訓練実施状況	22
18. 職員の状況	25
19. 地域における公益的な取組	26
20. 新型コロナウイルス感染症への対応	29
21. 単年度目標の総評	30

1.社会福祉法人金亀会の概要

(令和7年3月31日現在)

(1)所在地 愛媛県松山市余戸南6丁目5番3号

(2)開設 平成14年4月1日

(3)設置主体 社会福祉法人 金亀会

(4)事業	障害者支援施設スマイル	施設入所(定員30名) 生活介護、共生型通所介護、 共生型介護予防型通所サービス (定員55名) 日中一時支援(定員5名)
	短期入所事業スマイル	短期入所、共生型短期入所生活介護、 共生型介護予防短期入所生活介護 (定員4名)
	相談支援事業スマイル	地域相談支援、計画相談支援、 障害児相談支援
	ヘルパーステーションスマイル	居宅介護、重度訪問介護、移動支援、 介護予防型訪問サービス、訪問介護

(5)敷地面積 6,781.69㎡

(6)建物面積及び構造 鉄筋コンクリート造瓦葺平家建 2,260.02㎡

鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺陸屋根平屋建 110.00㎡

2.社会福祉法人金亀会 理事会・評議員会開催状況

理事：6名 評議員：7名 監事：2名

理事会	令和6年6月8日 第1号報告 理事長職務執行状況について 第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和5年度決算報告について 第3号議案 北棟LED照明器具交換工事について 第4号議案 苦情解決システムにおける第三者委員の選出について 第5号議案 就業規則の変更について 第6号議案 令和6年度定時評議員会の招集について
定時評議員会	令和6年6月23日 第1号報告 令和5年度事業報告について 第2号報告 苦情解決システムにおける第三者委員の変更について 第1号議案 令和5年度計算関係書類及び財産目録について
理事会	令和6年11月23日 第1号報告 理事長職務執行状況について 第1号議案 令和6年度一次補正予算について 第2号議案 脱水洗濯機の購入について 第3号議案 就業規則の変更について 第4号議案 給与規程の変更について 第5号議案 パートタイマー就業規則の変更について
臨時理事会 ※書面決議	令和7年2月14日 第1号議案 天井走行リフトの購入について
理事会 ※書面決議	令和7年3月24日 第1号報告 理事長職務執行状況について 第1号議案 令和6年度二次補正予算について 第2号議案 令和7年度事業計画について 第3号議案 日清医療食品との委託契約更新について 第4号議案 令和7年度予算について 第5号議案 給与規程の変更について 第6号議案 パートタイマー就業規則の変更について 第7号議案 育児休業規程の変更について 第8号議案 介護休業規程の変更について

3.施設利用者の概要

(令和7年3月31日現在)

(1) 施設入所支援

出身市町	施設入所支援利用契約者数		
	男(人)	女(人)	計(人)
松山市	18	8	26
西条市	0	1	1
伊予市	0	1	1
東温市	1	0	1
喜多郡内子町	1	0	1
合計	20	10	30

	年齢階層別状況							平均年齢56歳4ヵ月	合計
	18～ 20	21～ 30	31～ 40	41～ 50	51～ 60	61～ 64	65 以上		
男	0	1	1	4	6	2	6		20
女	0	1	1	1	2	2	3		10
合計	0	2	2	5	8	4	9		30

(2) 生活介護

出身市町	生活介護利用契約者数		
	男(人)	女(人)	計(人)
松山市	46	30	76
西条市	0	1	1
伊予市	2	4	6
東温市	1	0	1
松前町	4	1	5
砥部町	1	1	2
喜多郡内子町	1	0	1
合計	55	37	92

	年齢階層別状況							平均年齢41歳7ヵ月	合計
	18～ 20	21～ 30	31～ 40	41～ 50	51～ 60	61～ 64	65 以上		
男	5	14	12	8	8	2	6		55
女	5	6	7	7	6	3	3		37
合計	10	20	19	15	14	5	9		92

(3) 短期入所

出身市町	短期入所利用契約者数		
	男(人)	女(人)	計(人)
松山市	15	21	36
伊予市	1	1	2
伊方町	1	0	1
松前町	2	1	3
砥部町	1	1	2
山口県防府市	1	0	1
合計	21	24	45

	年齢階層別状況							平均年齢36歳1ヵ月	合計
	～ 20	21～ 30	31～ 40	41～ 50	51～ 60	61～ 64	65 以上		
男	1	8	6	4	1	1	0		21
女	1	6	6	6	5	0	0		24
合計	2	14	12	10	6	1	0		45

4. 医療状況

(1) 医療方針

- ※ 一人一人の身体状況と病状の変化を、正しく掌握する。
- ※ 個人個人に合った医療を提供できるように努める。
- ※ 自己管理を見直し、医師の指示のもと健康管理ができるように支援する。

(2) 医療状況の課題について

- ※ 7月と3月にコロナウイルス感染症のクラスターとなった。感染経路が分からず、ウイルスの侵入を完全に防ぐことは難しい。感染者を早期に発見することが、その後の感染拡大を防ぐ大きな要因となる。熱発はもとより、咽頭痛や頭痛、咳など自発的に訴えることができない利用者が多いため、普段よりしっかり観察を行い、早く異変に気が付けるようにしたい。また、感染対策や防護服の着脱など、スタッフ研修を通して感染の媒体にならないように徹底したい。
- ※ 身体・知的・精神の3障害の利用者がいるため、それぞれに応じた病状の把握や対応の方法を、生活支援スタッフと共有し、それぞれに合った医療・支援を提供したい。

(3) 年間医療行事

内 容	入 所	通 所	方 法
定期健康チェック	週3回 入浴前 検温 1日2回	検温 毎回 送迎迎え時、来所時	血圧測定・検温 SPO ₂ 測定
定期健康相談	毎週木曜日 毎週火曜日	毎週木曜日 なし	嘱託医来所 訪問歯科診療
定期健康診断	年2回	なし	愛媛県総合保険協会
新型コロナウイルス 予防接種	希望者	個人接種	嘱託医来所 (希望入所者)
インフルエンザ予防接 種	年1回(希望者)	個人接種	(入所者・職員)
肺炎球菌予防接種	年1回(希望者)	個人接種	(入所者 65歳・70歳)
職員健康診断	年1回 年2回(夜勤者)	年1回	愛媛県総合保険協会
入浴日	週3回	毎回 通所時	午前・午後

(4) 入院状況

区 分	入 院 期 間 (日 数)	入 院 先
65 歳 男	6/20～8/16 58 日間	松山リハビリテーション病院 リハビリ科
52 歳 男	9/26～10/7 12 日間	松山市民病院 整形外科
40 歳 女	1/23～3/28 65 日間	療育センター 整形外科
56 歳 男	3/18～3/24 7 日間	松山赤十字病院 内科
61 歳 女	3/19～3/28 10 日間	南松山病院 内科
66 歳 男	3/22～3/31 10 日間	済生会松山病院 内科
56 歳 男	3/27～3/31 5 日間	松山赤十字病院 内科

6 名 7 回 延べ 167 日 (前年度比+34 日)

(5) 嘱託医

【医療法人 星島内科医院 院長 星島俊彦】

・内科 ・呼吸器科 ・消化器科 ・循環器科 ・アレルギー科

(6) 協力病院

【医療法人財団 仁清会 野本記念病院】

・内科 ・循環器内科 ・整形外科 ・リハビリテーション科 ・外科

【医療法人 結和会 松山西病院】

・泌尿器科 ・内科 ・消化器内科 ・循環器内科 ・リハビリテーション科
・温熱治療専門外来

【医療法人社団 慈生会 城東病院】

・内科 ・リウマチ科 ・外科 ・整形外科 ・脳神経外科 ・循環器内科 ・麻酔科
・放射線科 ・リハビリテーション科 ・消化器科

【医療法人 かとう歯科】

・歯科治療・予防 ・歯列矯正 ・ホワイトニング ・インプラント ・訪問診療

5. 事故報告及び苦情報告

(1) 事故報告

事故報告

人身 106件 (前年度比 -2 件)

物損 68件 (前年度比 +18 件)

忘れ物・備品破損 80件

備考

- ・ヒヤリハットは人身事故関係が物損より圧倒的多い。
- ・事故報告は転倒・転落関係が多い。

ヒヤリハット件数

755件 (前年度比 +264件)

松山市に報告した事故

日付	令和6年 4月24日	利用者	入所者 男性
内容	9時10分頃、集会所にて職員と話をしていた際、本人がふざけて車椅子座面から臀部を前方にずらすような姿勢をとられる。姿勢を直そうと傍にいた職員が本人の体を少し前傾にした際、車椅子のブレーキがかかっておらずそのままバランス崩し転落する。その際、床で顔面を打ち、右前額部に裂傷と出血見られる。		
対応	9時半発で渡辺病院受診。CT撮影し結果異常無し。右臉上を4cm程切っているため、処置として3針縫合しガーゼで保護する。		

日付	令和6年 9月24日	利用者	入所者 男性
内容	9月24日(火)右膝内側に熱感と赤みあり。本人に確認すると、昨晚ベッド上で自分で寝返りをした際にベッド柵で打ったとのこと。9/25(水)こもれば診療所受診し、Drより右膝の傷から感染し炎症を起こしていると説明あり、抗生剤が処方される。翌日、午後発熱あり(検温時38.5度)。右膝の状態が悪化しているため松山市民病院受診する。		
対応	市民病院受診。右膝切開し、ドレーン挿入する。抗生剤の点滴が数日かかるため、処置と経過観察も併せて約2週間入院となる(9/26入院し10/7退院)。		

日付	令和7年 1月18日	利用者	入所者 女性
内容	4時半頃、居室にて介助者が本人を前方から抱えてベッドから車椅子に移乗する際、右足が車椅子のステップに引っ掛かり足を捻る。その後、痛みの訴えがある。確認すると右膝に腫れと熱感見られる。		
対応	1/18(土) 8:30おおの整形外科受診。Drより大きな病院で診てもらった方が良いとのことで、10:30愛媛医療センター(当日の救急病院)を受診。レントゲン撮影し、右脛骨骨折の診断あり。右膝下をシーネ固定し、痛み止めが処方される。 愛媛医療センターから渡辺病院に変わるため、1/20(月)午後受診し、レントゲン撮影とCT検査を行う。その際、右腓骨頭骨折の診断あり。右足をニープレスで固定する。 1/23(木)こども療育センターに入院となり、1/29(水)右足手術実施。入院中リハビリを行い、3/28(金)退院される。		

日付	令和7年 2月20日	利用者	入所者 女性
内容	9時過ぎ頃、入浴介助を実施。その際、排便があったためシャワー浴で対応し、浴用ストレッチャー上にて腹部と足元にシャワーを掛けた状態であった。介助者が他の利用者の介助のためその場を離れたが、最初に湯温を確認して以降温度確認をしていなかったため、湯温が徐々に上昇していたことに気付かず、熱い湯が3分程掛かり続ける。入浴後は右足に発赤が見られる程度であったが、14時半の排泄介助時に確認すると右足甲に大きめの水泡ができていた。		
対応	2/20(木)14時半に水泡を発見し、看護師が消毒とガーゼ保護を行う。翌日9時頃に処置をした際、水泡が大きくなっており、右足甲の他にも右足裏にも小さい水泡ができていた。2/21(金)午後こもれび診療所受診。Drより診察(消毒、ガーゼ保護)を行う。水泡が潰れた時に塗布する軟膏が処方される。		

(2) 苦情報告

No.1 令和6年11月14日 申出者:入所者 家族
※申出者の希望により詳細の公表は行いません 入所者の家族より、職員の発言について、事実とは異なることを言われ傷ついた旨の連絡がある。当該職員に事実を確認し、入所者本人およびご家族に謝罪する。謝罪について、ご了承いただく。

その他、6月に1件の送迎車両の運転に関する苦情があり、当該部署にて注意・指導を行った。

令和6年度 苦情解決システムにおける第三者委員会
日時:令和7年5月26日(月)14:00～ 場所:障害者支援施設スマイル 参加者: 第三者委員 伊賀上 明子氏、須山 楓氏 理事長、施設長、苦情受付担当(主任サービス管理責任者、本部員) 令和6年度苦情報告について第三者委員会の伊賀上氏、須山氏に報告を行う。委員からは、「無意識に口にしてしまう言葉の深層心理には障害のある方に対する差別意識のようなものがあるかもしれない。尊厳を大事にした対応が必要である」「職員同士のコミュニケーションは必要だが、気が緩みやすくなる側面も意識してもらいたい」といった意見があった。また、事例を施設全体で共有し意見を統一する機会についても積極的に設けるよう促された。このほか、虐待防止委員会で議題となった利用者対応の困難事例についても助言をいただいた。本会議の内容は今後の虐待防止委員会や各種取組に反映していく。

6.給食栄養等の状況

(1) 栄養別平均集計

		熱量 kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチ当量 μg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg
4月	朝	482	15.1	14.7	290	1.9	108	0.16	0.27	16
	昼	628	23.1	20.0	184	2.6	257	0.42	0.38	51
	夕	611	24.5	24.9	150	2.7	607	0.37	0.36	29
	計	1721	62.7	59.6	624	7.2	972	0.95	1.01	96
5月	朝	474	14.9	13.8	291	1.8	117	0.16	0.27	16
	昼	642	23.0	20.8	167	2.6	204	0.48	0.48	55
	夕	604	24.5	23.9	140	2.6	591	0.37	0.36	29
	計	1720	62.4	58.5	598	7.0	912	1.01	1.11	100
6月	朝	485	15.4	14.9	284	1.7	121	0.17	0.28	17
	昼	635	23.2	20.6	173	2.6	254	0.37	0.35	51
	夕	599	23.8	23.6	147	2.8	603	0.36	0.33	25
	計	1719	62.4	59.1	604	7.1	978	0.90	0.96	93
7月	朝	479	15.1	15.1	278	1.7	129	0.17	0.27	14
	昼	631	23.4	20.1	173	2.8	254	0.37	0.36	45
	夕	607	23.9	23.2	152	2.7	454	0.40	0.36	29
	計	1717	62.4	58.4	603	7.2	837	0.94	0.99	88
8月	朝	444	14.1	11.8	224	2.0	106	0.15	0.26	13
	昼	621	24.1	20.4	183	2.6	236	0.38	0.27	30
	夕	608	23.7	23.5	144	2.7	597	0.37	0.30	28
	計	1673	61.9	55.7	551	7.3	939	0.90	0.83	71
9月	朝	456	14.7	12.5	223	2.1	83	0.15	0.24	14
	昼	631	23.0	21.2	173	2.5	234	0.31	0.27	28
	夕	580	24.5	21.3	150	2.9	624	0.35	0.35	34
	計	1667	62.2	55.0	546	7.5	941	0.81	0.86	76
10月	朝	450	14.5	12.9	208	2.0	120	0.17	0.27	15
	昼	630	23.0	20.2	189	2.6	308	0.34	0.31	28
	夕	617	25.9	23.9	154	3.0	558	0.38	0.35	30
	計	1697	63.4	57.0	551	7.6	986	0.89	0.93	73
11月	朝	456	15.0	13.2	220	1.8	108	0.16	0.25	15
	昼	617	24.1	19.6	177	2.6	244	0.37	0.37	45
	夕	633	23.2	25.2	155	2.9	703	0.35	0.33	30
	計	1706	62.3	58.0	552	7.3	1055	0.88	0.95	90
12月	朝	458	14.5	13.4	290	2.5	142	0.34	0.34	15
	昼	646	24.7	22.2	240	3.3	386	0.60	0.52	45
	夕	632	23.9	24.2	168	2.9	642	0.36	0.35	30
	計	1736	63.1	59.8	698	8.7	1170	1.30	1.21	90
1月	朝	460	14.0	12.8	295	2.4	176	0.30	0.33	16
	昼	620	25.4	18.6	238	3.5	278	0.48	0.38	28
	夕	621	24.2	24.6	159	2.8	573	0.36	0.34	34
	計	1701	63.6	56.0	692	8.7	1027	1.14	1.05	78
2月	朝	478	15.2	13.7	263	2.6	154	0.32	0.33	18
	昼	627	24.3	20.5	209	3.3	271	0.52	0.41	36
	夕	613	23.3	23.0	165	2.9	518	0.36	0.33	35
	計	1718	62.8	57.2	637	8.8	943	1.20	1.07	89
3月	朝	458	14.0	12.6	255	2.4	144	0.29	0.31	15
	昼	631	23.9	21.6	232	3.3	336	0.55	0.49	44
	夕	611	24.0	24.4	151	2.9	769	0.38	0.36	33
	計	1700	61.9	58.6	638	8.6	1249	1.22	1.16	92

入居者給食費 1日あたり:1447円

その他利用者給食費 朝:550円 昼:720円 夕:720円 (非課税世帯 朝:275円 昼:440円 夕:440円)

7.施設入所支援利用状況

月		区分3	区分4	区分5	区分6	延べ利用者数	稼働率	備考
4月	男	0	30	180	390	600	100.0%	
	女	0	30	60	210	300		
	計	0	60	240	600	900		
5月	男	0	31	186	403	620	100.0%	
	女	0	31	62	217	310		
	計	0	62	248	620	930		
6月	男	0	30	170	390	590	98.9%	6/20～8/15 1名入院
	女	0	30	60	210	300		
	計	0	60	230	600	890		
7月	男	0	31	155	403	589	96.7%	
	女	0	31	62	217	310		
	計	0	62	217	620	899		
8月	男	0	31	171	403	605	98.4%	
	女	0	31	62	217	310		
	計	0	62	233	620	915		
9月	男	0	30	180	386	596	99.6%	9/26～10/6 1名入院
	女	0	30	60	210	300		
	計	0	60	240	596	896		
10月	男	0	31	155	428	614	99.4%	
	女	0	31	62	217	310		
	計	0	62	217	645	924		
11月	男	0	30	150	420	600	100.0%	
	女	0	30	60	210	300		
	計	0	60	210	630	900		
12月	男	0	31	155	434	620	100.0%	
	女	0	31	62	217	310		
	計	0	62	217	651	930		
1月	男	0	31	155	434	620	99.0%	1/23～3/27 1名入院
	女	0	31	62	208	301		
	計	0	62	217	642	921		
2月	男	0	28	140	392	560	96.7%	
	女	0	0	28	224	252		
	計	0	28	168	616	812		
3月	男	0	30	155	416	601	94.2%	3/19～3/27 3/22～3/31 3/27～3/31 各1名入院
	女	0	0	0	275	275		
	計	0	30	155	691	876		
年間	男	0	364	1,952	4,899	7,215	98.6%	稼働率 前年度比 +1.4pt
	女	0	306	640	2,632	3,578		
	計	0	670	2,592	7,531	10,793		

平均区分 5.8 (前年度比+0.2)

R7.3.31時点 入所者 30名

8.生活介護利用状況

月		区分3	区分4	区分5	区分6	延利用者数	開所日数	稼働率	備考
4月	利用者数	3	82	240	782	1,107	22	91.5%	
	送迎実施人数	1	3	7	47	58			
5月	利用者数	4	91	251	808	1,154	23	91.2%	
	送迎実施人数	1	3	7	45	56			
6月	利用者数	7	80	230	757	1,074	22	88.8%	
	送迎実施人数	2	3	7	46	58			
7月	利用者数	9	84	223	780	1,096	23	86.6%	
	送迎実施人数	2	3	7	46	58			
8月	利用者数	5	85	235	771	1,096	23	86.6%	
	送迎実施人数	2	3	8	45	58			
9月	利用者数	9	82	230	762	1,083	22	89.5%	
	送迎実施人数	2	3	6	46	57			
10月	利用者数	7	86	214	829	1,136	23	89.8%	
	送迎実施人数	2	3	6	45	56			
11月	利用者数	8	82	222	783	1,095	22	90.5%	
	送迎実施人数	2	3	8	47	60			
12月	利用者数	5	82	232	796	1,115	23	88.1%	
	送迎実施人数	2	3	7	45	57			
1月	利用者数	4	84	226	752	1,066	23	84.3%	
	送迎実施人数	2	3	8	43	56			
2月	利用者数	4	55	191	711	961	20	79.4%	
	送迎実施人数	1	3	8	44	56			
3月	利用者数	9	63	170	831	1,073	23	84.8%	
	送迎実施人数	2	3	7	45	57			
	利用者数	74	956	2,664	9,362	13,056	269	87.6%	稼働率 前年度比 +0.5pt
	送迎実施人数	21	36	86	544	687			

平均区分5.6 (前年度比±0)

9.短期入所利用状況

月		区分3	区分4	区分5	区分6	利用者合計	稼働率	備考
4月	男		2	10	32	44	125.0%	
	女		5	19	82	106		
	計		7	29	114	150		
5月	男		6	8	36	50	118.5%	
	女		7	18	72	97		
	計		13	26	108	147		
6月	男		4	2	37	43	102.3%	
	女		6	18	66	90		
	計		10	20	103	133		
7月	男		2	2	34	38	74.8%	7/29～8/18 感染症拡大防止のため 受入停止
	女		6	15	57	78		
	計		8	17	91	116		
8月	男				15	15	37.4%	
	女		2	12	23	37		
	計		2	12	38	52		
9月	男		4	2	53	59	114.8%	
	女	2	6	17	63	88		
	計	2	10	19	116	147		
10月	男			4	70	74	123.8%	
	女	2	9	11	65	87		
	計	2	9	15	135	161		
11月	男		7	6	40	53	109.2%	
	女	2	6	19	51	78		
	計	2	13	25	91	131		
12月	男		5	5	46	56	106.5%	
	女	2	4	20	50	76		
	計	2	9	25	96	132		
1月	男		2	3	40	47	87.1%	
	女	2	6	15	45	68		
	計	2	8	18	85	115		
2月	男		4	4	38	46	85.0%	
	女	2	4	21	46	73		
	計	2	8	25	84	119		
3月	男				15	15	21.5%	3/10～3/31 感染症拡大防止のため 受入停止
	女	2	2	4	15	23		
	計	2	2	4	30	38		
年間	男	0	36	46	456	540	92.2%	稼働率(空床157) 前年度比 -14.1pt
	女	14	63	189	635	901		
	計	14	99	235	1091	1,441		

(前年度比延利用者数-111) 平均区分 5.7(前年度比±0)

10.相談支援事業実施状況

名称	相談支援事業スマイル
サービス内容	地域相談支援、計画相談支援、障害児相談支援
主たる実施地域	松山市、東温市、伊予市、砥部町、松前町
開設年月日	平成25年4月1日
人員体制	管理者1名(常勤)、相談支援専門員2名(常勤1名・パート1名)
事業の目的及び運営方針	1、事業所は、利用者がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況、その置かれている環境などに応じて、利用者の選択に基づき、適切な健康、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行うものとする。 2、事業所は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者に提供される福祉サービス等が特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業を行う者に不当に偏ることのないよう、公正中立に行うものとする。 3、事業者は、市町、障害福祉サービス事業を行う者等との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善及び開発に努めるものとする。 4、関係法令等を遵守する。

(1)サービス等利用計画の件数

	松山市	伊予市	東温市	松前町	砥部町	西条市	計 前年度比
本計画 作成件数	58	7	0	2	1	1	69 +1件
モニタリ ング件数	135	15	1	2	3	1	157 +5件

障がい別支援状況(障害児を含む) (R7.3.31現在)

	身体	知的	身体+知的	精神	難病	身体+難病	計
件数	34	8	34	3	4	1	84

11. ヘルパーステーション利用状況

(1) 総括

利用者の心身の状況・特性を踏まえ、個々の有する身体能力に応じ、より安心し自立した生活を営むことができるよう、身体介護をはじめ生活援助、その他必要とする支援を提供し、利用者及びその家族の負担軽減に努めてきた。また、今後は関連機関との情報交換を図りながら、利用者の心身の状態に即した関わりが持てるように努める。養育支援では、その必要性があると思われる家庭に育児・家事支援が入ることにより、養育者の状態が落ち着き、安定した児童養育が可能となるよう努め、適切な指導、助言等を行う。

(2) 利用者の状況

(年齢別)	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～	合計
男性		4	1	2	5	2	1	15
女性	1	1		7	4	2		15
合計	1	5	1	9	9	4	1	30

(市町別)	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
松山市			1	4	2	7	11	25
伊予市	1			1			1	3
松前町	1						1	2
合計	2	0	1	5	2	7	13	30

(3) 業務状況

居宅介護、移動支援、訪問介護の3つのサービスを提供する。

サービス内容の質の確立を図るため、介護技術指導、研修、関連機関との定例会等に参加し、様々なケースの介護及び援助方法を学んだ。生活相談業務により利用者の処遇の改善に努めた。

(延時間・利用人員)

※訪問介護は「13. 介護保険利用状況」にて報告

サービス	居宅介護							
	身体介護中心		家事援助中心		通院(身体介護有)		通院(身体介護無)	
	延時間	利用人員	延時間	利用人員	延時間	利用人員	延時間	利用人員
4月	144:25	14	40:30	5	24:40	3		
5月	152:30	12	44:50	5	24:55	3		
6月	162:15	14	44:30	5	18:35	4		
7月	187:30	13	57:00	6	23:55	3		
8月	184:05	12	53:30	7	20:20	3		
9月	156:30	12	64:00	8	21:00	4		
10月	157:50	12	75:50	6	32:15	4		
11月	154:45	11	69:50	9	24:25	4		
12月	162:55	11	81:30	9	25:20	4		
1月	177:40	12	69:45	9	23:55	4		
2月	153:50	11	74:50	9	24:15	3		
3月	141:35	11	77:30	9	23:00	4		
合計	1925:50	145	753:35	87	286:35	43	0	0
前年度比	-261:05		+270:00		+30:30			

サービス	重度訪問		移動支援(私的契約含む)				養育支援	
	訪問介護		身体介護有		身体介護無			
	延時間	利用人員	延時間	利用人員	延時間	利用人員	延時間	利用人員
4月			17:00	3	5:30	1		
5月			13:30	3	5:30	1		
6月			18:00	3	5:30	1		
7月			22:30	4				
8月			6:00	2	5:30	1		
9月			15:00	4	5:30	1		
10月			15:30	4	5:30	1		
11月			23:30	6	5:30	1		
12月			18:00	4		1		
1月			20:00	7				
2月			15:30	4	5:30	1		
3月			22:30	5	5:30	1		
合計	0	0	207:00	49	55:00	10	0	0
前年度比	±0		+51:30		+5:30			

障害福祉サービス総提供時間 3228:00(昨対比+61:31)
介護保険サービス総提供時間 00:00(昨対比-62:00)

12. 日中一時支援事業報告

(1) 業務状況

一時的に見守り等の支援が必要な在宅の障害児・者に対して、日中における活動の場を提供し、ご家族の就労支援及び一時的な休息を供与することを目的とした生活支援や余暇活動を実施した。

(2) 利用状況

		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	合計	稼働率	実施日	平均人数
4月	男	16					16	14.5%	22	0.73
	女						0			
5月	男	16			1		17	14.8%	23	0.74
	女						0			
6月	男	15					15	13.6%	22	0.68
	女						0			
7月	男	17					17	16.5%	23	0.83
	女	2					2			
8月	男	12					12	13.0%	23	0.65
	女	3					3			
9月	男	15			1		16	14.5%	22	0.73
	女						0			
10月	男	17					17	15.7%	23	0.78
	女	1					1			
11月	男	15					15	13.6%	22	0.68
	女						0			
12月	男	16					16	15.7%	23	0.78
	女	2					2			
1月	男	13					13	11.3%	23	0.57
	女						0			
2月	男	15					15	15.0%	20	0.75
	女						0			
3月	男	11			1		12	10.4%	23	0.52
	女						0			
合計	男	178	0	0	3	0	181	14.1%	269	0.70
	女	8	0	0	0	0	8			

稼働率 前年度比+1.8pt

(3) 年齢階層・男女・市町別登録状況

市町		0～6歳	7～12歳	13歳～18歳	19歳～	合計
松山市	男				1	1
	女				1	1
伊予市	男					0
	女			1		1
松前町	男					0
	女					0
西予市	男				1	1
	女					0
合計	男	0	0	0	2	2
	女	0	0	1	1	2

平均年齢 24歳9ヵ月

(4) サービス内容

日常生活支援・日中活動支援・相談及び援助・健康管理

13.介護保険利用状況

(1)利用者の状況

令和7年3月31日現在

サービス	要介護度	通所介護		短期入所生活介護		訪問介護	
		共生型		共生型		身体介護/生活援助	
		男	女	男	女	男	女
松山市	要介護5		1				
	要介護4						
	要介護3						
	要介護2						
	要介護1	1					
	要支援2						
	要支援1						
合 計		1	1	0	0	0	0

(2)利用状況

サービス	通所介護		短期入所生活介護		訪問介護	
	共生型		共生型		身体介護/生活援助	
	延日数	利用人員	延日数	利用人員	延時間	利用人員
4月	14	2	0	0	0	0
5月	13	2	0	0	0	0
6月	12	2	0	0	0	0
7月	13	2	0	0	0	0
8月	13	2	0	0	0	0
9月	14	2	0	0	0	0
10月	13	2	0	0	0	0
11月	12	2	0	0	0	0
12月	13	2	0	0	0	0
1月	11	2	0	0	0	0
2月	12	2	0	0	0	0
3月	14	2	0	0	0	0
合計	154	24	0	0	0	0
前年度比	-66	-4	0	0	-62:00	-7

14.ボランティア来所状況

- ・俳句サークル講師(2ヶ月毎 1名)
- ・トキアンサンプルの演奏(5/29 9名)
- ・オアシス会の朗読会(6/19 4名)
- ・クリスマス会(12/19 学生9名)

15.年間行事実施状況

実施	内 容	日 時 ・ 場 所
4月	・松前公園散策(生活介護) ・俳句サークル ・行事食(釜飯)	4/2(火)、4/11(木)、4/12(金)、4/15(月)、4/16(火)、4/17(水)、4/18(木)、 4/23(火)、4/24(水)、4/25(木) 4/5(金) 4/12(金)
5月	・ひのき湯 ・松前公園散策(生活介護) ・アイスクリームの日 ・トキアンサンプル ・マジックサークル ・選択食(海老ピラフorサンドイッチ) ・入所グループ外出:買い物・ドライブ・散歩	5/6(月)~5/10(金) 5/7(火)、5/8(水)、5/9(木)、5/10(金)、5/15(水) 5/9(木) 5/29(水) 5/16(木) 5/30(木) 5/14(火)、5/31(金)散歩、5/14(火)、5/24(金)買い物:セブンスター 5/28(火)買い物:ファミリーマート
6月	・俳句サークル ・オアシス会 ・スマイル祭り ・避難訓練(浸水害時車両乗り込み) ・入所グループ外出:南垣生東公園・買い物(エミフル)	6/7(金) 6/19(水) 6/25(火) 6/11(火) 6/10(月)、6/13(木)、6/24(月)、6/26(水)
7月	・入所グループ外出:買い物・ドライブ ・選択食(ビビン麺or冷やし中華) ・入所うなぎ提供(家族会より)	7/3(火)、7/11(木):イオン 7/31(水):しおさい公園 7/17(水) 7/24(水)
8月	・入所すいか割り ・運動会(生活介護) ・行事食(デザートday)	8/6(火) 8/23(金) 8/30(金)
9月	・重信フジ(昼食有り)外出(生活介護) ・スマイル作品展:道後友輪荘(生活介護) ・エミフル(買い物のみ)外出(生活介護) ・行事食(山菜釜めし) ・運動会(入所)	9/3(火)、4(水)、12(木)、13(金) 9/6(金)~11/4(月) 9/17(火)、19(木)、25(水)、27(金)、30(月) 9/19(木) 9/24(火)
10月	・BBQ(入所) ・エミフル外出(生活介護) ・選択食(さんまの塩焼きorかぼちゃコロッケ) ・えひめの障がい者アート展に作品展示 ・俳句サークル	10/2(水) 10/1(火)、4(金)、7(月)、10(木) 10/9(水) 10/10~10/20:愛媛県美術館 10/11(金)
11月	・「平成祭」に作品展示 ・行事食(麺&寿司ランチ) ・障がい者アート展(伊予市巡回展) ・入所個別外出:砥部動物園 ・入所個別外出:ジョーブラ&ドライブ外出 ・砥部町文化会館 沖野あゆみ様作品展示	11/1(金) 11/1~11/27のうち週1回 11/7(木)~11/17(日) 11/19(火) 11/13(金)、11/29(金) 11/21(木)~2025年1月末まで
12月	・避難訓練(入所:火災想定) ・俳句サークル ・ゆず湯 ・クリスマス会	12/3(火) 12/6(金) 12/16(月)~12/20(金) 12/19(木)
1月	・行事食(おでんバイキング) ・椿神社(生活介護) ・椿神社(入所)	1/28(火) 1/6(月)、7(火)、8(水)、9(木)、15(水)、17(金) 1/8(水)、9(木)、14(火)、15(水)、16(木)、21(火)、22(水)、28(火)
2月	・節分行事 ・俳句サークル ・行事食(お鍋の日:キムチ鍋) ・沖野あゆみ複製画展「花と鳥と肖像」 ・避難訓練(入所:火災日中想定)	2/3(月) 2/7(金) 2/12(水) 2/18(火)~8/10(日) 2/27(木)
3月	・行事食(お鍋の日:すき焼き風鍋) ・三津厳島神社アートご朱印(入所:和田徳一氏)	3/14(金) 3/1(土)~3/31(月)

16.諸会議・各種委員会及び研修状況

(1)諸会議

会議開催日	会議名	参加対象者
月1回	運営会議	理事長、施設長、事務主任、会計主任、本部員、サビ管、主任Ns、サ責、相談員、管理栄養士
不定期	新型コロナウイルス感染防止対策会議	理事長、施設長、事務主任、本部員、サビ管、主任Ns、サ責、相談員、管理栄養士
月1回	職員会議	理事長、施設長、全職員
月1回	スタッフ会議	各部署全職員

(2)各種委員会

開催日	委員会名/実施内容	参加対象者
不定期	行事委員会	各部署より担当職員2～3名
開催日:4/12、6/7、9/24、12/10、2/4 ・年間行事委員会にて年間行事計画(各月のサークル活動、祭り、運動会、文化祭、クリスマス会、節分の実施時期・運営方法等)の作成 ・日中活動(サークル活動等)の調整 ・外出行事の企画・運営 ・外部講師・ボランティアの調整		
月1回	感染対策・安全衛生委員会	運営会議の参加職員
開催日:毎月の運営委員会にて行う ・愛媛県、松山市の感染症の状況報告 ・労働災害等の報告 ・食中毒、感染症に関する対策の周知		
月1回	苦情処理委員会	運営会議の参加職員
開催日:毎月の運営委員会にて行う ・スタッフ会議、掲示板での周知、対応策の共有 ・運営委員会への報告 ・第三者委員会への報告		
月1回	虐待防止・身体拘束適正化委員会	施設長、サビ管、サビ管補佐、サ責、相談員、主任看護師、PT、本部員
開催日:5/29、6/26、8/28、9/25、10/30、11/27、12/25、2/26 ・苦情・事故等の共有と改善策検討、全体への共有 ・7月 虐待防止研修(グループワーク) 1月 カスタマーハラスメントについての研修 ・身体拘束についての記録の徹底・状況報告、改善策検討 ・月間目標の設定、ありがとうボードの設置		
不定期	リスクマネジメント委員会	各部署より担当職員2～3名
・毎月ヒヤリハットについての集計報告 ・スタッフ会議等での周知及び対応の検討		
不定期	ノーリフトケア委員会	各部署より担当職員2～3名
開催日:5/14、7/9、8/28、9/10、11/5、1/7、2/13 ・福祉用具及びポジショニングの検討・導入、介助方法の見直し、災害時に備えた人力移乗の実施 ・ノーリフトケアの意義と入浴介助時のKYT研修 ・車いすのメンテナンス ・ヒヤリハットの集計とノーリフトケア、移乗、福祉用具に関わる事例の検討及び各部署での周知		

不定期	BCP推進委員会	理事長、施設長、事務主任、本部員、サビ管、主任Ns、サ責、相談員
開催日：2/21 ・BCPの見直し及び内容の把握、各役割の把握 ・福祉避難所について(松山市障害福祉課ヒアリングの共有) ・各部署の課題の抽と共有		
不定期	広報誌委員会	各部署より担当職員1～2名
・毎月の広報誌作成		
不定期	給食委員会	管理栄養士、各部署より担当職員1～2名 日清医療食品SV、栄養士
開催日：10/16、12/26 ・米飯の変更、サプリメント導入の検討 ・日清医療食品との意見交換		

(3)施設外研修(オンライン研修含む)

研修開催日	研修会名	職種	参加者
5/7	愛媛県身体障害者施設協議会施設長会	施設長	1
5/15-16	リフトリーダー養成講座	生活支援員	1
5/16-17	中四国身体障害者施設協議会施設長研修	施設長	1
5/25	公益社団法人愛媛県栄養士会総会・研修会	管理栄養士	1
6/20	居宅介護事業所障害福祉サービス定期勉強会	サービス提供責任者、本部員	2
6/23	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	事務主任	1
7/9	処遇改善加算報告書対策セミナー	事務主任	1
7/15	暴力・ハラスメント対策研修	施設長	1
7/24	社会福祉法人セミナー	施設長	1
7/24-25	精神障害者の障害特性と支援方法を学ぶ研修	相談支援専門員	1
8/9	ホームヘルパー基礎研修会	訪問支援員、登録ヘルパー	2
8/24	笑いヨガ養成講座・体験講座	施設長	1
9/5	安全運転管理者講習	施設長	1
9/19	居宅事業所障害福祉サービス定期勉強会	サービス提供責任者、本部員	2
9/19	訪問介護サービス提供責任者研修	サービス提供責任者	1

9/26	処遇改善加算新規算定・ランクアップ支援セミナー	施設長、事務主任	2
7/28、9/28-29	防災士養成講座	サービス提供責任者	1
9/29	栄養プランの作成	管理栄養士	1
9/30	社会福祉法人施設長等研修会	施設長	1
10/12	愛媛県災害時要配慮者支援チーム養成基礎研修会	理学療法士	2
10/17-18	愛媛県身体障害者施設協議会職員研修大会	生活支援員	2
10/22-23	サービス管理責任者基礎研修	生活支援員リーダー	1
10/31	防災に関する研修会	施設長	1
11/6	社会福祉法人監事監査研修会	理事長、施設長	2
11/9	栄養士会栄養指導者研修	管理栄養士	1
11/11	居宅事業所障害福祉サービス定期勉強会	サービス提供責任者、本部員	2
11/12	障害児相談支援に関する研修会	相談支援専門員	1
11/12	福祉の職場 チームリーダー研修会	生活支援員	2
11/15	総合福祉研究会第40回全国大会	施設長	1
11/18-19	中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー	本部員	1
11/21	介護現場のカスタマーハラスメント対策セミナー	施設長	1
11/21-22	中四国身体障害者施設職員研修	生活支援員リーダー、生活支援員	2
11/22	報酬改定・制度改正対策セミナー	施設長 サービス管理責任者	2
11/27	アートにまつわる権利のきほんStep3	管理栄養士、本部員	2
11/28	愛媛県身体障害者施設協議会サービス管理責任者研修会	施設長、サービス管理責任者	2
12/10	愛媛県障がい者虐待防止・権利擁護セミナー	生活支援員	1
1/24	スキルアップ研修 身体拘束排除のための工夫	サービス管理責任者、本部員	3
1/29	改正育児・介護休業法等説明会	施設長、事務主任	2
1/30 1/31	「個別避難計画」作成支援に関する事業者説明会	施設長、相談支援専門員 サービス提供責任者	3

2/5-6	サービス管理責任者更新研修	サービス管理責任者	1
2/7	愛媛県身体障害者施設協議会施設長会	施設長	1
2/13	中四国身体障害者施設協議会施設長研修会	施設長	1
3/4	愛媛県介護事業所における防災リーダー養成等支援事業 能登半島地震被災事業所のBCP取り組み事例セミナー	本部員	1
3/11 3/18	処遇加算の職場環境要件解説セミナー	施設長 事務主任、本部員	4
3/15	障害支援ネットワーク研修会	相談支援専門員	1
3/20	自立支援協議会の今とこれから	相談支援専門員	1
3/24、29	処遇改善加算計画書作成セミナー	施設長、事務主任	2
3/27	就労選択支援を見越したテレワーク支援	相談支援専門員	1
3/27	居宅事業所障害福祉サービス定期勉強会	サービス提供責任者、本部員	2

(4)施設内研修

研修月日	研修会名	職種	参加者
5月	認知症サポーター養成講座	全職種	26
6月	BCP/食中毒対策について	全職種	20
7月	虐待防止研修(グループワーク)	全職種	21
9月	ノーリフトケア/入浴介助時のKYT	生活支援員・看護師	24
10月	チームケアについて	全職種	24
11月	介護倫理について	全職種	22
12月	AEDの使い方	全職種	61
12月	感染症予防/ハラスメント対策について	全職種	21
1月	カスタマーハラスメント/手指衛生について	全職種	27
2月	虐待防止・身体拘束等の適正化について	全職種	26

17. 防災訓練等実施状況

(1) 第1回 消防訓練

日 時：令和6年12月3日（火）13:30～14:25

参加者：入所者27名 短期入所者2名 職員2名

目 的：日中の火災を想定し、消火・通報・避難訓練を実施し避難行動の確認と、防災の意識づけを目的とする。松山市西消防署立ち会いのもと実施する。

内 容

- 1：火災発見時の初期消火
- 2：通報・連絡訓練（防災設備の使用法徹底）
緊急通報装置及び、非常放送設備の使用
- 3：避難訓練
職員の対応及び問題点、避難方法確認
- 4：定例会議
各部署代表職員と訓練参加者による訓練の反省・改善点の検討、消防機器点検を実施

避難場所：集会所

反 省：新型コロナ対応以降となる松山市西消防の立ち会いによる訓練だった。「充実した訓練だった。日頃の努力を感じた。多くの訓練を見てきたが指折りの内容だった」とのコメントがある。一方で、2名の入所者が不穩により訓練に参加となった。実際の災害時には、不穩な状態でも避難させなければならない。今後の課題となる。

(2) 第2回 消防訓練

日 時：令和7年2月27日（木）13:30～14:30

参加者：入所者29名、短期入所者1名

職員4名（※うち2名は誘導時の事故を防ぐ見守りの役割）

目 的：日中の火災を想定し、消火・通報・避難訓練を実施し避難行動の確認と、防災の意識づけを目的とする。松山市西消防の立ち会いのもと実施する。

内 容

- 1：火災発生時の初期消火
- 2：通報・連絡訓練（防災設備の使用法徹底）
緊急通報装置及び、非常放送設備の使用
- 3：避難訓練
職員の対応及び問題点、入所者の避難方法確認

4：定例会議

各部署代表職員と訓練参加者による訓練の反省・改善点の検討、消防機器点検を実施

避難場所：集会所

反 省：本訓練より移乗の事故を防ぐため、避難誘導を職員 2 名 1 組で行うことを基本として実施する。西消防より「人数確認（点呼）について工夫が必要」「名簿を持ち出すようにしたら」との助言・指導があった。実際に火元付近の部屋で分担のミスによる避難誘導の漏れがあった。確認方法について、誘導が終わった居室の戸を閉めて名札を回収する案があがり、次回訓練までに周知することとした。

（3）第 1 回 大規模災害避難訓練（浸水害想定）

日 時：令和 6 年 6 月 11 日（火）13：00～14：30 車両乗り込み訓練

参加者：入所者 30 名 職員 7 名

目 的：日中での重信川氾濫を想定し、避難準備、避難の指示を出し、車への乗りこみを行う。実際の流れに即して訓練を行うことで、災害時の避難確保計画を再確認するとともに、車両乗り込み等での課題を明確にし、避難行動の向上をはかる

内 容

1：避難訓練

職員の対応及び問題点、入所者の避難車両への乗り込み、実際の避難。避難経路の確認

2：定例会議

各部署代表職員と訓練参加者による訓練の反省・改善点の検討、消防機器点検を実施

反 省：乗り込み訓練自体は軽微な変更等で事故なくスムーズに終わることができた。一方で、令和 5 年度でも課題となっていた入所職員の福祉車両の操作について、課題が解消されていない状態である。人員不足の側面があり、訓練にまとまった時間ができていないものの、次年度までの解決を図る。

（4）第 1 回 BCP（事業継続計画）研修・訓練

日 時：令和 6 年 6 月 28 日（金）17：40～18：30※職員会議内で実施

参加者：職員 19 名

目 的：BCP の内容について理解を促進する（研修）とともに、各自の BCP 上における役割を把握する（訓練）

内 容：施設内研修にて本部 BCP 担当者より、BCP の概要について説明を行う、また

南海トラフ大地震を想定した地震時の初動について、各自の行動を確認する。

(5) 第2回 BCP（事業継続計画）研修・訓練

日 時：令和7年2月21日（金）14：00～15：30※BCP推進委員会にて実施

参加者：BCP推進委員会8名

目 的：令和7年度のBCPへの変更点を確認する（研修）とともに、各委員から現状の課題や令和7年度の計画を役割の把握とともに共有する（訓練）

内 容：BCP推進委員会を兼ねて実施した。令和7年度の変更点として、福祉避難所の取り扱いについて松山市障害福祉課へのヒアリングをもとに新たにスマハウスの供出について追記した。各部署からの課題としては非常用発電装置および備蓄物資の保管場所について課題が共有された。いずれも令和7年度中に進捗を報告する。変更点や課題を踏まえ、感染症対策も合わせて推進委員で各自の行動を確認した。

(6) 防犯訓練

日 時：実施なし

18.職員状況

(1)職種及び常勤換算員数

令和7年3月31日現在

	施設長	事務主任	事務主任代理 兼会計主任	本部員	事務員	サービス 管理責任者	サービス管理 責任者補佐	生活支援員 リーダー
常勤	1.0	1.0	1.0	1.8	1.0	2.0	1.0	3.0
嘱託								
非常勤								

	生活支援員	管理栄養士	理学療法士	主任看護師	看護師	相談支援 専門員	サービス 提供責任者	訪問介護員
常勤	18.1	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.1
嘱託	1.0							
非常勤	5.5		0.6		1.7	1.0	0.7	

	送迎運転手	登録 ヘルパー	洗濯	清掃	洗濯・清掃	洗濯・ 介護補助	嘱託医
常勤							
嘱託							0.1
非常勤	0.7	0.5	0.3	1.0	0.4	0.4	

(2)資格保持者数

	ヘルパー2級	初任者研修	実務者研修	介護福祉士	社会福祉士	准看護師	正看護師	理学療法士
常勤	9	11	5	17	3		3	1
嘱託			1					
非常勤	5	1		10	1	2	3	1

	管理栄養士	サービス管理 責任者更新	サービス管理 責任者(基礎)	サービス管理 責任者(実践)	相談支援 現任者研修	防火管理講 習	喀痰吸引 (不特定)	強度行動 障害(基礎)
常勤	1	3	4	2	1	4	2	1
嘱託								
非常勤	1				1			

	強度行動 障害(応用)	衛生管理者	介福実習 指導者	社福実習 指導者	医療的ケア 児等支援	精神障害者 支援を学ぶ研
常勤	1	2	4	2	2	1
嘱託						
非常勤						1

19. 地域における公益的な取組

『余土地区町内川清掃』

実施日 令和6年4月29日

場 所 余土地区町内川周辺

参加者 地域の方 多数

目 的 地域清掃を通じて、地域住民に施設利用者への理解に繋げる。

『松山市民体育祭 2024 第44回 余土地区総合運動会』

実施日 令和6年5月19日

場 所 松山市立余土小学校グラウンド

参加者 地域の方 多数

目 的 地域住民との交流により、福祉を身近に感じ施設利用者への理解に繋げる。

『新規学校卒業予定者対象求人手続説明会及び高等学校と企業の情報交換会』

実施日 令和6年5月23日

場 所 松山総合コミュニティーセンター

参加者 18校

目 的 福祉分野の就職を希望する学生に対し学校への情報提供。

『施設見学の受入れ』

実施日 令和6年5月24日、5月31日、6月14日

場 所 障害者支援施設スマイル

参加者 河原医療福祉専門学校 介護福祉科 22名

目 的 専門学校へ入学した学生に向けた施設利用者への理解に繋げる。

『福祉就職セミナー&福祉・介護のジョブフェス 2024』

実施日 令和6年5月26日

場 所 愛媛県民文化会館

参加者 一般の就職希望者 数名

目 的 福祉関係の就業を希望する方に障害者福祉への理解に繋げる。

『ハローワーク個別説明・就職相談会』

実施日 令和6年6月12日

場 所 ハローワーク松山

参加者 一般の就職希望者 数名

目 的 福祉関係の就業を希望する方へ障害者福祉への理解に繋げる。

『実習生の受入れ』

実施日 通年

場 所 障害者支援施設スマイル

参加者 河原医療福祉専門学校 介護福祉科 計 9 名

(9/9～10/11 : 1 名 9/9～12/3 : 1 名)

松山学院高等学校 福祉科 計 2 名

(8/19～8/23 : 2 名)

目 的 実習生の受入による福祉人材の育成を行う。

『小学生の社会学習受入れ』

実施日 令和 6 年 10 月 15 日

場 所 障害者支援施設スマイル

参加者 職員の子供 (小学五年生)

目 的 親が働いている姿を見て将来の福祉人材へと繋げる。

『障害福祉についての講義』

実施日 令和 6 年 10 月 24 日

場 所 フジコビル講習室

参加者 介護労働安定センター実務者研修受講者約 30 名

目 的 地元で福祉関係の就業を目指す方々に障害福祉への理解に繋げる。

『さくら小学校出前事業』

実施日 令和 6 年 10 月 29 日

場 所 さくら小学校

参加者 5 年生 約 120 名

目 的 小学生に対し障害者福祉への理解に繋げる。

『平成祭 (文化祭)』作品展示

実施日 令和 6 年 11 月 1 日

場 所 済美平成中等教育学校

参加者 生徒、学校関係者 多数

目 的 障害者アートを通じて、学校関係者の方に障害福祉への理解に繋げる。

『伊予市アート展』作品展示

実施日 令和 6 年 11 月 7 日～17 日

場 所 IYO みらい館

参加者 一般の方多数

目 的 障害者アートを通じて、一般の方に障害福祉への理解に繋げる。

『学内企業説明会』

実施日 令和7年3月16日

場 所 河原医療福祉専門学校

参加者 河原医療福祉専門学校 介護福祉科・社会福祉メディカルソーシャル科 19名

目 的 地元の専門学校で将来的に福祉関係の就業を目指す学生に障害者福祉への理解に繋げる。

『職場体験ボランティア』

実施日 令和7年3月25日～28日

場 所 障害者支援施設スマイル

参加者 河原医療福祉専門学校 社会福祉メディカルソーシャル科 7名

目 的 地元の専門学校で将来的に福祉関係の就業を目指す学生に障害者福祉への理解に繋げる。

20.新型コロナウイルス感染症対応・発生状況

1.感染予防対策（令和7年3月31日時点）

- ・事業継続計画に沿って、年2回の感染対策研修の実施
- ・施設関係者（スタッフ、利用者、出入りの業者）のマスク着用、検温、消毒の徹底
- ・施設職員のマスクの着用
- ・新型コロナウイルス感染症特別有給休暇の設定
陽性が認められる場合、施設が必要と判断した際には特別有給休暇のうえ自宅待機とする
- ・利用者の活動制限
施設内での感染拡大を防ぐため、入所者に陽性者が確認された場合、事業継続計画に沿って感染対策会議を実施し、必要に応じて以下の制限を行う
 - ① 外出・外泊・面会等の制限
 - ② 施設内でのマスク着用
 - ③ サークル活動や、入浴等の縮小
 - ④ 短期入所の受け入れ中止
- ・定期的なBCP推進委員会による事業継続計画の見直し

2.クラスターの発生状況

①令和6年7-8月

経過：7月29日入所者1名に発熱あり、抗原検査にて陽性が確認される。以降、入所者・職員に継続して陽性者が確認される。8月10日の入所者の隔離解除（8月14日まで居室対応は継続）により収束とする。

陽性者数 入所者 8名 職員 8名 計 16名
重症者 なし

②令和7年3月

経過：3月11日入所者1名に発熱あり、抗原検査にて陽性が確認される。同日に別の入所者2名の陽性も確認、以降継続して入所者・職員に陽性者が確認される。3月28日、新規陽性者の確認が7日連続見られず保健所より収束の判断を受ける。

陽性者数 入所者 14名 職員 7名 計 21名
重症者 入所者 2名

- (1) 3/17 隔離中の入所者 SPO2 低下・緊急搬送し入院、3/24 退院
3/27 SPO2 再度低下・緊急搬送し入院 4/1 退院
4/4 SPO2 再度低下・緊急搬送し搬送先の病院で死亡
- (2) 3/22 隔離対応の解除後の入所者 SPO2 低下・緊急搬送し入院

21.単年度（令和6年度）目標の総評

【総評】

令和6年度は報酬改定もあり、様々な変更事項に対処する1年であった。生活介護の基本報酬が従来の区分による算定に加え、サービス提供時間によるものとなり、通所では6～7時間の基本報酬を算定するために送迎時間や勤務体制の見直しを行った。各加算についても取得できるよう業務全般を見直し、サービス費の増加につながられた。

新型コロナウイルス感染症については、7月29日～8月13日、3月11日～28日の期間で2回クラスターと認定された。職員も感染する中で、看護師を中心に迅速に対応し感染を最低限に留めることができた。面会や外出、外泊などを再開し、以前の生活に戻りつつあるなかで、今後もガイドラインを参考に感染対策をしっかりと行い、利用者の安心・快適な生活が守れるように努めていく。

介護中の事故については、入所者に対し重大な事故が2件発生した。二度と同じことが起きないように再発防止に取り組むとともに、年間の研修計画をたて、職員のケアの質の向上を図っていききたい。

人材確保については、令和7年度の新卒採用ゼロという結果に終わった。中途採用も思うようにいかず、既存の職員の負担を増やす結果となった。「自分がしなければ」という責任感につながった側面もあるが、過度な負担にならない人員配置を今後も検討していく。そのためにも、ハローワークや各種学校等の関係性の強化や、ボランティアの受け入れ、見学会などを実施していく。介護人材不足は社会問題にもなっていることから、現在の福利厚生の見直しやICTシステムの導入・活用の人手から置き換えられる業務の見直しなど、働きやすい魅力ある職場へと環境を整えていく。

【法人本部】

○人材確保・育成（研修・資格取得）

- ・資格については、介護福祉士国家試験に2名が合格した。資格取得の補助については、定期的に声かけを行い、資格取得のサポートをしていきたい。
- ・義務化されている研修（入浴介助、感染症、虐待防止、身体拘束、BCP）について、計画的に行うことができた。
- ・必須研修以外では、認知症サポーター講座、チームケア、介護倫理について研修を行い、職員のスキルアップにつながられた。

○人材確保・育成（採用計画）

- ・令和7年4月新卒採用者なし

- ・中途採用 7 名（嘱託介護職員 1 名、パートタイマー（看護師）2 名、（掃除・洗濯）4 名）
- ・各種学校への訪問や、高卒求人イベントへ参加し、介護科のない学校へも案内を行った。
河原医療福祉専門学校には、ボランティア募集や介護福祉課 1 年生を対象とした施設紹介の協力や新卒給与の見直しなど多岐にわたる働きかけをしたが、結果には結びつかなかった。
- ・中途採用に関しては、ハローワークとの結びつきを強化し、スマイル単独の面接相談会、施設見学会をそれぞれ開催した。

○業務の効率化

- ・入所の看護記録をエクセルで入力できるように様式、仕組みを作った。2 か月ほどは修正や意見を聞きながら様式を変更し現在は看護師だけで運用できるようになっている。手書きでの線グラフや重複記入する必要がなくなり、必要な情報が拾いやすくなった。
- ・ヘルパーステーション サービス提供記録の書式を改良する。スマホ、ラインワークスの導入により情報共有やコミュニケーションの改善を図る。試行錯誤しつつ、自分たちに最適な使用方法に落ち着いている。報告・指示出しがしやすくなり特定事業所加算の要件も満たしている。また随時訪問に入っていない方の様子も情報共有でき、会議の時間短縮にもなっている。
- ・記録の IT 化の為に情報収集を行う。良いと思うシステムもあるが、現在使用しているシステムの使用権やシステム間でのデータの連動、経費等の問題があり、引き続き検討が必要である。

○利用者の人権・人格の尊重

- ・月 1 回、定期的に委員会を開催して事業所ごとに虐待に関する問題点や職員研修の内容について議論することができた。委員会で話し合った内容については各部署の虐待防止委員会から申し送りを行い、施設全体で虐待防止に取り組むシステムを構築することができた。また、3 か月に 1 回、虐待防止委員会のなかで身体拘束適正化委員会を行い、各部署の身体拘束の状況について話し合うことができた。
- ・苦情担当スタッフで苦情内容をまとめ、委員会で検討し、具体的な解決策を提案し再発防止に努めた。また、苦情としてあがらなかったが、問題になりそうな支援についても話し合いを行い、解決に努めた。

○利用者の満足度・ニーズを意識したサービスの質の向上

- ・アセスメントやカンファレンス等で利用者ニーズを掘り起こし、個別支援計画に反映し支援を行っている。
- ・満足度調査の内容について検討したが、調査表作成には至らなかった。
- ・職員に研修やスタッフ会議を通じて、利用者の立場に立った支援の重要性について伝えて

きた。しかし、支援場面によっては職員優先の考えになることもあったため、誰のための支援なのか、引き続き伝える必要がある。

○施設の設備改善・修繕

- ・当初の計画通り、施設内のマルチエアコン 5 台を順次更新し、今年度を実施した事務所系列が最終となり全館完了した。照明の LED 化については、北棟と南棟に 2 分した分散型工事として年間の経費を最小限に抑え、誘導灯の LED 化は補助金を活用し全館取替が完了した。今回の改修により、電気代の節約にも繋ぐことができた。A1 の居室入口バリアフリー工事も予定通り完了した。
- ・管理業者の定期巡回報告により現状を把握するとともに、引き続き保守点検業務の見直しを続ける。

○BCP/BCM の推進

- ・BCP に関する研修・初動の訓練や BCP の見直し、役割の確認訓練、車両乗込み訓練（浸水害を想定した訓練）、そのほか各部署での防災委員を通じた BCP の周知を行う。
- ・職員の理解度としては、初動の認知のステップであり、最低限の目標は達成できた。

○公益的取り組みの促進

- ・介護労働安定センター主催の実務者研修にて障害福祉についての講義を行う。介護福祉士を目指す方に、選択肢として高齢者介護だけでなく障害福祉分野もあることを知ってもらうための大事な機会となっている。
- ・地域清掃や運動会、秋祭りに参加する。
- ・夏祭りの規模縮小により、地域と利用者との交流の場が少なくなった。地域の一員として参加できるイベントを検討する。
- ・さくら小学校での講義や日浦中学校の職場体験、河原医療福祉専門学校や松山学院の実習など、様々な方に障害福祉を理解してもらう場を増やす。

【障害者支援施設スマイル（施設入所支援）・短期入所事業スマイル】※共生型を含む

○利用者家族等との連絡、相談をこまめに行う。

- ・家族が面会に来られた際は挨拶や近況報告を行い、情報共有ができた。個別で食事や日中の様子を見たいと希望がある場合には、実際に職員が説明をしながら対応した。
- ・スマイル祭りやクリスマス会は家族を招待し、その際に担当職員が家族の方と直接話をする機会を作った。
- ・面会が難しい家族に対しては、電話を通じて体調や近況を報告した。

○施設イベントや季節行事などを行い、入所者に楽しんでもいただく機会、気分転換ができる機会を提供する

- ・利用者の健康状態も考慮しながら、定期的に個別外出、グループ外出を実施して楽しんでも頂けた。
- ・かほり湯として5月にひのき湯、12月にゆず湯を行い季節に応じた入浴を実施した。
- ・6月にスマイル祭り、12月にクリスマス会を開催。どちらも家族が参加できる形とし、利用者の方も来所した家族(または関係者)と一緒に催し物を楽しまれていた。
- ・10月には夕食にBBQをし、利用者の中にはテント席で食べられる方もおり満足されていた。
- ・2月の節分では豆まきの代わりに玉入れを行い「鬼は外、福は内」の掛け声と共に楽しまれていた。

○環境整備および感染症対策の実施

- ・毎日の業務の中で備品消毒を実施し、感染対策に努めた。
- ・整理整頓の一環として、使用した物を元の場所に戻すこと、洗剤や石鹸等の容器に希釈の量と原液の場所を記入し、補充がスムーズに行えるようにした。
- ・棚や引き出しの整理整頓が出来ているか確認するためのチェック表を作成し、ホワイトボードに毎月20日に貼り出し申し送りにて周知した。スタッフルーム中央の書類棚を整理し、どこにどの書類を置くかテプラで表示した。その他、リネン室や裏倉庫の掃除を行い、不要な物は処分した。11月には部署内の大掃除を実施。分担表を基に各職員手分けして行い、普段できない部分も掃除できた。

○防災

- ・定期的に避難訓練（浸水害、火災（日中・夜間想定））を行い、避難時に必要なことを学ぶことができた。
- ・避難時に使用する公用車乗り込み表、利用者配布カードの更新は随時行い、訓練後再度見直しを行っている。
- ・避難訓練時持ち出すものについて過去にリストアップしたが、そのままになってしまっている為、見直しが必要。

○虐待防止の取り組み

- ・敬称と言葉遣いについては、毎日の申し送りで毎回声に出すことで意識付けができるようにしていた。現在はスタッフルーム内の目立つ所に標語を貼っている。敬称は名字または名前にさん付けが定着しているが、時々愛称で呼んでいることがある。
- ・利用者より話(相談)があれば時間を作りゆっくり話を聴くよう努めている。その際、本人の思いをしっかりと汲み取るようにし、記録に残した。支援に関する相談においては、サビ

管が該当職員とも話をして問題解決に努めた(その後の様子も聞き取りをした)。

- ・移乗介助中の骨折や入浴中の火傷など、職員の不注意による大きな事故が発生した。該当職員への注意指導および職員全体への注意喚起を行っているが、今後も再発防止と安全な介助を徹底していく。

○介護技術の向上、他職種との関係

- ・KYT トレーニングを実施した。実際にあったヒヤリハット報告書を基に場面を想定し作成する事でより身近に感じられる内容にすることが出来た。また昨年に引き続き、災害時を想定しリフトが使えない状況での人力移乗の体験を実施した。
- ・利用者ごとに適切な移乗を行う為に担当職員に伝え、車椅子、リハビリの検討を行った。また、居室形態を床からベッドに変更し移乗時の負担を軽減した。来年度は介助方法や福祉用具の提案、試行にもっと力を入れていく必要がある。

○短期入所利用者への対応

- ・R6 年度の新規利用者は 9 名。その内 4 名は、毎月定期的に利用が見られている。
- ・新規受付の窓口をサビ管に 1 本化し、事前に本人と面談できる環境(見学)を作り、ショート係やNsと相談の上、実際に受け入れ可能か判断を行うようにした。
- ・出来るだけ多くの方に利用してもらえよう、家族や相談員と日程調整を行った。
- ・週末は利用希望の方が多く、2 か月前の予約の段階で満床になってしまう為、直前に予約が入るとお断りしないといけない場面がある。
- ・1 年に 1 回 2 次アセスの見直しを行い情報の見直しを行った。変更があれば申し送りを行い、2 次アセスに赤ペンで書き込むことでどの部分が新しく変更になったか周知出来た。

【障害者支援施設スマイル(生活介護)】※共生型を含む

○報酬改定に応じた 6 時間のサービス提供をベースとした 1 日の流れ(業務フロー)を組み立てる。また、業務の時間配分と直接支援に係るデータを把握する(課題の抽出)

- ・サービス提供時間の土台となる送迎に関して見直しを行い、送迎便数と送迎にかかる人員を増加することで、結果として大半の利用者が 6 時間以上のサービス提供を受けられるようになった。下期には更に見直しを実施し、7 時間以上のサービス提供を行う利用者も増加した。

○直接支援時間の増加(「総」直接支援時間)とその他の業務の効率化

- ・書類の簡素化を進めており、今後は PC も増加し、ケース記録等、一部手書きの書類についてデータ化することも検討している。
- ・新規利用や特別利用の受け入れに対して、「ゼロ回答の完全廃止」を実現し、施設が選ぶの

ではなく常に選択肢が利用者にある状態を達成した。

- ・個々のニーズに合わせたサービスを提供するため、個別支援提供時間調査を計2回実施。提供時間は710分/週(11月調査)から755分/週(1月調査)に増加した。

○虐待防止委員会

- ・月ごとの4S(整理・整頓・清潔・清掃)に関連する目標に取り組んだ。目標を立てるだけでなく、振り返りや翌月以降の継続についても周知することで、個々で責任をもって取り組むことができた。

○ノーリフト委員会

- ・車椅子の管理チェックシート、リフト使用者一覧リスト、福祉用具使用一覧表について、それぞれ目的に応じて書類を統合する等管理しやすい形に更新した。
- ・スタッフ会議等では、ヒヤリハットの提出促進や、利用者によって指定の福祉機器を正しく使用するよう注意喚起・ポスター掲示を行った結果、誤った福祉機器を使用することによる事故は発生していない。

○防災

- ・BCP推進委員会に連動してBCPの理解促進を進めた。事業継続計画のうち特に通所に関連する部分をスタッフ全員が確認した。
- ・災害時情報シートについては、パソコン入力を行い紙ベースとデータ保管を行った。地震等への対応として、医療バッグの見直し、緊急地震速報発報時の安全確保行動のポスターを作成し掲示した。

○行事委員会

- ・外出行事では、新型コロナウイルスの影響で中止していた外食を含む内容を再開した。加えて短時間の気分転換目的の外出も企画し、利用者のニーズの多様化に応じた外出行事を実施した。

【障害者支援施設スマイル（日中一時支援）】

- 新規受け入れについては、その都度日中一時担当・サービス管理責任者を含めて検討を行い、情報を残す。
- ・利用希望の問い合わせが4件あり、新規では1件ご利用頂いた。後の3件は、サービス時間や利用希望曜日(土日)に対応出来ずお断りをした。新規の問い合わせがあった場合は、パソコン入力を行いデータにて情報を残している。

○関連機関等の情報収集を行い、見学を実施する。

- ・しげのぶ特別支援学校の施設説明会にサービス管理責任者が参加し、施設サービスの説明を行った。近隣の小中学校と連絡をとり(麻生・余土・松前・垣生・愛大付属小・中)スマイルのパンフレットを学校に置いて頂くことができた。見学に関しては、ハードルが高く、近隣の小中学校からの情報収集にとどまるかたちとなった。

【ヘルパーステーションスマイル】

○稼働時間の維持、増加を目指す（常勤で1日4時間以上）

- ・サービス提供責任者による密な連絡やフォローにより関係性を築けている。
- ・新たな利用者のサービスに入る際には同行およびサービス提供中にサービス提供責任者が訪問しフォローすることで、統一した介助を行えている。

○情報共有をしやすい環境を作り業務効率の改善

- ・4月より、スマホを導入し、5月からラインワークスの稼働を開始した。
- ・以前は同じ内容をそれぞれに伝える必要があり、多忙の中情報共有を全体ですることが難しかったが、現在は必要な事項を職員及び登録ヘルパーと共有しやすい環境が整えられた。
- ・特定事業所加算取得に必要なサービス内容の報告と指示出しについても、ラインワークスを使うことでスムーズに出来ている。訪問していない利用者の様子も共有し随時把握出来るようになったため、より詳細を理解しやすく、会議等の時間の短縮にもつながっている。
- ・少数部署であるため、職員ひとりの予定の変更や遅刻、事故などでその日の動きが大きく変わる。何かあった際の連絡する優先順位などを都度確認する。

○入所者への移動支援

- ・移動支援の時間が増加している。本人の希望に沿った外出同行のため、入所職員とも連携を取りながら計画等を立てられている。入所者の方のQOLの向上につながっている。

※養育支援は令和6年度実施なし。

【相談支援事業スマイル】

○利用者とそのご家族がより良い生活を送れるようにサービス等利用計画に反映させ、各サービスの把握と調整を行う。

- ・事業所等で大勢の人がいる際の面談時は周囲状況を確認し、他者と距離を取りお話を伺っている。また、話しやすいように質問の仕方を利用者ごとに変更し、状況に応じて自宅等場所の選定をしている。コミュニケーションに関しては日常の会話の延長から困りごとや

希望などを伺い、言語化し対応している。

- ・モニタリングの時期だけに限らず、本人や家族からの訴え時、事業所等からの情報共有や特変時の様子を受けて、時間や日程の調整をして対応している。事実確認と話の内容について傾聴することを心掛けた。利用者のお話等を真摯に受け止め、多角的な視点からアセスメントするように配慮した。
- ・ご家族とのコミュニケーションはお一人お一人の状況を鑑み、家族環境やその時の状態を客観的に検討し随時対応することができた。

○他事業所との連携

- ・困ったことや質問は直接障がい福祉課等に出向き、対面でコミュニケーションを図るなど、必要に応じて各自治体とやり取りを行うことができた。
- ・担当する利用者の関連機関とはモニタリング等行い関係性を深めることが出来た。新規依頼時に事業所名簿を確認し、面識のない事業所とのやり取りを通じて交流を深めサービス提供の幅を広げることが出来た。

○各種研修会や WEB セミナーへの参加

- ・各種研修に関しては必要に応じて参加することが出来ている。相談支援専門員のグループスーパービジョンと連絡会に関しても可能な限り参加している。

事業報告の附属明細書

令和 6 年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、
事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人 金亀会